

事業所名

こども支援ハウス わらかな

支援プログラム

作成日

令和7 年

4 月

1 目

法人（事業所）理念		※基本的生活習慣を身に着け社会性を育みます※子どもとその家族を大切に思い、安心して過ごせる場所を提供します※子ども一人一人の発達や個性、特性に合わせた療育的支援のもと、楽しさや面白さを全身で感じ、様々な感情を経験体験しながら「生きることを楽しむ力」が育つよう支援します※保護者とともに、子どもの発達・成長について共に考え、共に学び合う姿勢を大切にします					
支援方針		※子どもたちの人権、主体性を尊重します※5領域を網羅した切れ目ない療育支援を行います※合理的配慮を基にしたかかわりを基盤に、子どもたちが安心・安全に生活できる場所作り、たくさんの成功体験・失敗経験を積み重ねることで、自己決定する力や生きる力を育み、自己肯定感を養います※傾聴の姿勢を大切にし、子どもやその家族に寄り添い、育児や発達、就学に向けたサポートを行います					
営業時間		9 時	30 分	17 時	30 分	送迎実施の有無	あり （事業所から片道20分程度の距離）
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	※排泄、着脱、入浴、食事等の練習、健康状態の維持・改善、生活リズムや生活習慣の形成等の基本的生活スキルの獲得 プログラム例：提示トイレの誘導・衣服着脱・持ち物の整理整頓、管理等					
	運動・感覚	※姿勢の保持、バランスを取る、立つ、歩く、走る、跳ぶ等の身体の大きな筋肉を使った動作の練習及び基本動作の習得を通して力加減や手足の協調を目指す※絵を描く、字を書く、物をつまむ、ハサミを使う、ボタンを留める等の手指を使った細かな動作の練習※様々な素材に触れたり、支援者とわらべ歌などのふれあい遊び、またリズム遊びやリトミックなどを通して感覚統合を目指す※危険を察知して身を守る術の習得 プログラム例：室内サーキット・リズム遊び・リトミック・受け身等の粗大運動、わらべ歌・手遊び・絵画・ちぎり絵・折り紙・制作等の微細運動					
	認知・行動	※発達状況に応じた様々な玩具遊びや文字遊びの提供※地域資源を活用した課外活動を通して適正な行動の習得を目指す※必要な情報を収集して認知の発達を促し、数の大きさ・色や形の識別、弁別等の概念を培う※性教育（絵本やロールプレイを用いた学習機会の提供） プログラム例：図形・弁別・マッチング・数・色彩・時間に関する課題の提供、教育粘土					
	言語 コミュニケーション	※しりとり遊び・言葉のカテゴリー分け・絵本の読み聞かせ等を行い、2項関係や3項関係の構築を図る※複数の指示理解の練習※言語聴覚士との1対1での言語訓練を行いながら、様々なツール（言葉やジェスチャー・指差し等）で意志の表出を促すとともに、人とのかかわり方を中心としたコミュニケーション力を培う プログラム例：言語訓練・SST（ソーシャルスキルトレーニング）					
	人間関係 社会性	※小集団から集団におけるルールのある生活や活動を通して他者への興味関心を広げるなかで、状況に応じた行動が取れること・ルールを守ることによって他者と過ごすことが心地いいと感じ集団参加ができるようなプログラムの提供（人間関係の形成・社会性の発達） プログラム例：地域の商業施設や公共の場を利用した活動・SST・LST（ライフスキルトレーニング）					
家族支援		※アタッチメント（愛着）の安定※家族（きょうだいを含む）からの相談に対する適切な助言等※障害特性に配慮した家庭環境の相談・助言等※児童の発達に関する相談・助言等※制度に関する相談・助言等			移行支援		※保育所、幼稚園、放課後学童等への移行支援 ※ライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行に向けた準備・援助※他事業所と併行利用している場合における併行利用先との連携※関係機関との会議を通して、児童の心身の状況や生活環境などの情報連携の実施
地域支援・地域連携		※保育所や幼稚園・医療機関等との情報連携や調整、支援方法や環境整備に関する相談援助等の取り組み ※地域の行事に参加し、様々な人とのふれあいをもつ機会の提供			職員の質の向上		※事業所内研修、外部研修への参加 ・虐待防止、身体拘束、安全管理、感染症、災害、事故防止等に関する研修の開催や参加、スキルアップのための資格取得
主な行事等		※季節に合わせた活動（押し花、水遊び、山登り、落ち葉拾い、エイサー、クリスマス、お正月、節分、ひな祭り等） ※親子教室（もの作り、運動遊び、ふれあい遊び等） ※保護者向け勉強会（子どもとのかかわり方について、性教育について等を講師を招き講話）					